

生物実験 調査票

記入例

※生物実験を行うすべての課題で提出が必要です。別途問い合わせる事があります。

提出日：2024年2月1日

課題番号	23J 000
課題代表者 (所属)	稲毛 太郎 (〇〇大学 〇〇学部 〇〇〇〇講座)
地区内(所内)対応者 (所属)	放医研 一郎 (△△部 〇〇室)

- 量研機構で毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質等の薬品の使用予定はありますか？該当項目に記入してください。
 - ・使用予定： なし あり (具体的に： 10%中性緩衝ホルマリン液)
 - ・使用場所： 重粒子線棟 その他 ()
 - ・入手方法： 購入 他施設から持ち込み (〇〇大学)
- 実施する実験について、該当項目にチェックをしてください。(1)~(4)のいずれかを選択した場合は以下の該当項目にも記入してください。また(5)を選択した場合は具体的な実験内容を簡潔に記入してください。
 - (1) 動物実験
 - (2) 遺伝子組換え実験
 - (3) 研究用病原体実験
 - (4) 培養細胞を用いた実験
 - (5) その他の実験 (具体的に：)

(1) 動物実験について

(A) 使用予定実験動物 (II期に使用する予定の動物について記入して下さい)

	動物種 ^{注1}	系 統 ^{注1}	匹 数	入 手 先 ^{注1}	量研機構に搬入する 直前の飼育場所 ^{注1}	量研機構搬入時の 微生物レベル (該当に〇)	遺伝子組換え 実験の有無 (該当に〇)
I 期予定	マウス	C3H/He	100	A動物業者	A動物業者	SPF・CV	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	マウス	C57BL/6J	100	B動物業者	B動物業者	SPF・CV	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
II 期予定						SPF・CV	有・無
						SPF・CV	有・無

^{注1} 動物種、系統、入手先及び飼育場所については事前に実験動物管理者の許可を受けたものに限ります。

(B) 照射場所 (該当するものに印をつけて下さい)

- 重粒子線棟 生物 照射室
- その他 ^{注2} _____

^{注2} 量研機構外の方は原則、使用できません。地区内対応者と十分協議し、別途申請して下さい。

(C) 1 実験当たりの使用匹数及び飼育期間 ^{注3}

① 1 実験当たりの使用匹数及び実験希望回数： 100 匹/回 × 2 回

② 飼育希望時期及び期間 (「日間」、「週間」又は「カ月間」のいずれかに〇印をつけて下さい)

- 2024年 4月 ~ (照射前：約 1 日間・週間・ヶ月間、照射後：約 2 日間・週間・ヶ月間)
- 2024年 5月 ~ (照射前：約 1 日間・週間・ヶ月間、照射後：約 2 日間・週間・ヶ月間)
- 年 月 ~ (照射前：約 _____ 日間・週間・ヶ月間、照射後：約 _____ 日間・週間・ヶ月間)
- 年 月 ~ (照射前：約 _____ 日間・週間・ヶ月間、照射後：約 _____ 日間・週間・ヶ月間)

^{注3} 飼育期間は原則、照射前後で計1ヶ月間を限度とします。

(D) 照射前後の希望飼育場所 (該当するものに印をつけて下さい)

- | | | |
|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 量研機構内

<input type="checkbox"/> 量研機構外 | } | <input checked="" type="checkbox"/> 重粒子線棟 動物飼育室
<input checked="" type="checkbox"/> 重粒子線棟 1階生物実験室 動物飼育装置
<input type="checkbox"/> 実験動物研究棟 ^{注4}
<input type="checkbox"/> その他 ^{注4} _____ |
|---|---|---|

^{注4} 量研機構外の方は原則、使用できません。地区内(所内)対応者と十分協議し、別途申請して下さい。

次頁あり

(E) 1階生物実験室の使用希望（動物への実験処置・採材等で使用する場合）

- ① 使用の有無： 有 無
（照射約 _____ 日前、照射約 3 日後）

(2) 遺伝子組換え実験について

(A) 使用する拡散防止施設の場所（該当するものに印をつけて下さい）

- 重粒子線棟1階生物実験室
 重粒子線棟生物照射室
 その他 _____

(B) 使用の範囲（該当するものに印をつけて下さい）

- 細菌・真菌の使用
 認定宿主ベクター系 非認定宿主ベクター等
 ウイルス・欠損ウイルスの使用
 動物の使用
 作出 使用・飼育 接種

(C) 拡散防止措置（該当するものに印をつけて下さい）

- P 1 認定系
 P 1 A 特定認定系
 P 1 P
 P 2
 P 2 A

(3) 研究用病原体の取扱い実験について

(A) 取扱う場所（該当するものに印をつけて下さい）

- 重粒子線棟1階生物実験室
 重粒子線棟生物照射室
 その他 _____

(B) バイオセーフティレベル（該当するものに印をつけて下さい）

- BSL 1 ABSL 1
 BSL 2 ABSL 2

(4) 培養細胞を用いた実験

(A) 取扱う場所（該当するものに印をつけて下さい）

- 重粒子線棟1階生物実験室
 重粒子線棟生物照射室
 その他 _____

(B) 培養細胞にウイルス等の微生物の混入情報

- あり（混入微生物： Δウイルス、バイオセーフティレベル： BSL2 ）
（微生物の混入細胞の具体的な取扱い方法： 安全キャビネットでの操作、使用器具のオートクレーブ処理 ）
 なし

- * : ・量研機構内における動物実験、遺伝子組換え実験、研究用病原体の取り扱い実験の手続きや施設に関する詳細については、生物研究推進室に問い合わせ下さい。
・マシンタイムキャンセルによりマシンタイムの追加要望をされる際には、該当の課題で必要となる手続きの実施に加え、実験室や飼育室等が使用可能である事を必ず確認してください。

連絡先： 生物研究推進室 小久保 年章
TEL:043-206-3054 FAX:043-251-6404
E-mail : kokubo.toshiaki@qst. go. jp